



早大応援部&OB

「部には『旗を継ぐ』という誓いがある。卒業生が再び角帽を買い増すように、製造業者が新しい角帽を製造する。規模の事業を探しつつ、幅広い学生が入学式や卒業式、早慶戦など節目にコスチュームとして着用する伝統をつくらせよう」と計画した。

「部には『旗を継ぐ』という誓いがある。卒業生が再び角帽を買い増すように、製造業者が新しい角帽を製造する。規模の事業を探しつつ、幅広い学生が入学式や卒業式、早慶戦など節目にコスチュームとして着用する伝統をつくらせよう」と計画した。



学生注目!!



バズれ角帽



- 1 角帽姿で記念写真を撮った卒業生
- 2 1952年に撮影された早稲田大学の風景—同大提供
- 3 角帽復活を目指す応援部OBの笹山俊彦さんと現役部員の永井武尊さん
- 4 写真部に角帽姿の記念写真を撮ってもらう卒業生—いずれも新宿区で

復活へ全力エール

学生注目!! 早稲田大学応援部がOBと協働で「角帽復活プロジェクト」に取り組んでいる。通常の学帽の上にひし形がかたどられた角帽は早大の象徴だったが、今や着用する学生はほとんどおらず、販売店も減り続け、入手困難に。伝統を残すべく、バンカラな部員が考えた秘策は「映え」だ。

「部には『旗を継ぐ』という誓いがある。卒業生が再び角帽を買い増すように、製造業者が新しい角帽を製造する。規模の事業を探しつつ、幅広い学生が入学式や卒業式、早慶戦など節目にコスチュームとして着用する伝統をつくらせよう」と計画した。

